

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）事後評価書

平成26年 1月 21日

計画の名称	1 宇治田原町自然をまもり共に生きるまちの実現		
計画の期間	平成22年度～平成24年度（3年間）	交付対象	宇治田原町
計画の目標	下水道整備を行い、自然をまもり共に生きるまちを実現し、良好な環境を将来の世代に引き継ぐ		

下水道整備を行い、自然をまもり共に生きるまちを実現し、良好な環境を将来の世代に引き継ぐ

計画の成果目標（定量的指標）	①処理場水処理施設の整備率を40%（H22）から50%（H24）に増設する。 ②中継ポンプ場ポンプ施設（φ200mm×2.5m ³ /分）の整備率を50%（H22）から75%（H24）に増設する。 ③根幹的施設（処理場・ポンプ場）の耐震化を0%（H22）から14%（H24）に増加させる。		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 （H22当初）	中間目標値	最終目標値 （H24末）	
① 処理場施設 水処理施設の整備数（施設）／水処理施設の整備全数（施設）	40%		50%	
② 中継ポンプ場施設 ポンプ施設の整備数（施設）／ポンプ施設の整備全数（施設）	50%		75%	
③ 根幹的施設（処理場・ポンプ場）の耐震化 耐震化済みの施設数（箇所）／耐震化すべき施設数（箇所）	0%		14%	
全体事業費	合計 （A+B+C）	638.50百万円	A	638.50百万円
			B	
			C	
				効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)
				0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
	・宇治田原町下水道庁内連絡会議において実施。	・事業終了後 公表の方法 ・町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

上段（計画）
下段（実施）

A1 下水道事業										事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	H22	H23	H24		
1-A1-1	下水道	一般	宇治田原町	直接	—	処理場	増設	宇治田原浄化センター（水処理施設）	3,100m ³ /日→3,900m ³ /日	宇治田原町				501.50 151.50	
1-A1-2	下水道	一般	宇治田原町	直接	—	ポンプ場	増設	郷之口中継ポンプ場（ポンプ増設）	2.5m ³ /分→5.0m ³ /分	宇治田原町				134.50 0.00	
1-A1-3	下水道	一般	宇治田原町	直接	—	ポンプ場	改築	郷之口中継ポンプ場（耐震対策）	ポンプ場・建築	宇治田原町				2.50 12.00	
小計（下水道事業）													638.50 163.50		
合計													638.50 163.50		
B 関連社会資本整備事業										事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	H22	H23	H24			
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24			
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																	
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 処理場水処理施設及び中継ポンプ場施設では、流入汚水量の伸びが計画を下回ったため、施設の整備時期を後年度に先送りすることとしたが、汚水の処理は適切に実施できている。 ポンプ場（建築）の耐震化工事を実施することにより、大規模地震時に建物の倒壊を防ぎ、施設内の機械電気設備を保護することで未処理下水の流出の防除が図られた。 															
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（処理場施設）	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	施設の増設時期を見直したため。												
		最終実績値	40%														
	指標②（中継ポンプ場施設）	最終目標値	75%	目標値と実績値に差が出た要因		施設の増設時期を見直したため。											
		最終実績値	50%														
	指標③（根幹的施設の耐震化）	最終目標値	14%	目標値と実績値に差が出た要因			中継ポンプ場（建築）の耐震化を実施し、今回の目標は達成できた。										
		最終実績値	14%														
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		下水道事業により水生生物が生息できるきれいな水辺環境の保全に努め、住民に親しまれる川づくりを行うことで、以前のようなホタルの飛び交う川を取り戻してきている。															
3. 特記事項（今後の方針等）																	
処理場水処理施設の増設及び中継ポンプ場施設の増設は、今後の流入汚水量予測の中で適正な時期に行い、機能を確保する。																	

(参考様式3)

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 宇治田原町自然をまもり共に生きるまちの実現	交付対象	宇治田原町
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 (3年間)		

宇治田原町公共下水道計画図 (汚水)

